

科目名 (Eng)		プログラミング演習 (Advanced Programming)									
担当教員		島村 浩									
対象学年等	学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数				分野	形態	学修単位科目		
	コミュニケーション情報学科	4	後期	必修	2	30	専門	C	○		
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(B-3)・(B-4)・(D-2)・(D-3)・(D-5)										
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：2)・5)										
		JABEE基準1(1)との対応：d-(3).					JABEE必修科目				
授業の概要と方針		C言語を用いて、応用的なプログラムを作成・実行し、プログラミングの応用技術を習得する。									
到達目標		①仕様に基づいて、簡単なプログラムの設計ができること。 ②データ構造について理解し、構造体を用いたプログラムが作成できること。									
授業計画											
	週	授業項目			理解すべき内容			準備学習			
前期	1	データ構造の復習(1)			1次元配列			プログラミング基礎の復習			
	2	データ構造の復習(2)			2次元配列			プログラミング基礎の復習			
	3	データ構造の応用(1)			配列の応用			プログラミング基礎の復習			
	4	データ構造の応用(2)			構造体			プログラミング基礎の復習			
	5	データ構造の応用(3)			構造体			プログラミング基礎の復習			
	6	課題演習(1)			仕様書の作成			プログラミング基礎の復習			
	7	課題演習(2)			プログラミング			プログラミング基礎の復習			
	8	課題演習(3)			実行テスト			プログラミング基礎の復習			
	9	文字列の処理(1)			文字列の定義			プログラミング基礎の復習			
	10	文字列の処理(2)			文字列関数、文字列ステートメント			プログラミング基礎の復習			
	11	グラフィックス(1)			図形の描画、座標系			プログラミング基礎の復習			
	12	グラフィックス(2)			描画メソッド			プログラミング基礎の復習			
	13	課題演習(4)			仕様の作成			プログラミング基礎の復習			
	14	課題演習(5)			プログラミング			プログラミング基礎の復習			
	15	課題演習(6)			実行テスト			プログラミング基礎の復習			
試験について		後期期末試験は実施しない。									
評価方法		課題50%、レポート50%で評価する。									
教科書		文法からはじめるプログラミング言語Microsoft Visual C#入門、WINGSプロジェクト 高江 賢、日経BP									
参考書		エンジニアのためのプログラミング入門、VB.NETによるプログラミングの基礎、大槻正伸、電気書院 実習 Visual Basic.NET 一だれでもわかるプログラマー									
関連科目		プログラミング基礎									
履修上の注意		設計を基に実際にプログラムを作成し、実行することによって検証する習慣を身に付けてほしい。									